

## 続ボラッチョ・ボニートのメキシコ便り(No.35)

### 「酒は老人の乳」

・・・酒飲み談義・・・

3週連続の泊まりがけでの、工学系国公立大学教官相手の講義活動が終わった最後の日に、滞在先のホテルで、テキーラ製造会社の販売担当をしている、メキシコ人からテキーラ談義を聞く機会を得た。旅先では多くの人との出会いがあるものだ。

ボラッチョ・ボニート氏が日々愛してやまない、メキシコオリンピックで有名になった、特産テキーラについては、ピンからキリまで相当数の種類があることはわかっているが、彼いわく、一般に流通している名の通ったテキーラよりも、世間的には名がまだ知られていない、地方で売られているテキーラの方に美味くて質の良いものがあるという。日本酒の世界の話と同じ様なことが、テキーラの場合にも当てはまるらしいが、テキーラについてはまだ経験不足のゆえ、日本酒や焼酎の世界で巷間言われている、「幻の銘酒」に類したものがあろうかとはわからない。



今後も健康と予算を勘案しながら、飲み比べしたいものだ。目下のところは、値段のピンの方はボランティア活動の薄給の身では、高値の花の存在で、指をくわえ、口の中によだれを貯めるだけである。反対にキリの方は安いことは安いのだが、純粋にテキーラの原材料たる、アガベ（リュウゼツランの一種）100%と表示されていないので、殆どパスしている。



従って、必然的に中級クラスの値段（日本円で1300円ぐらいから2000円ぐらいまで）のものに頼らざるを得ず、「これでなければ絶対駄目だ」という通でもない。

さて、今回の題名の元となった、「El vino es la teta del viejo」というスペイン語の諺がある。「エル ビノ エス ラ テタ デル ビエッホ」と発音し、「vino」は本来、ブドウ酒を意味するが、日本人には酒と訳したほうが合うだろうし、また「teta」は単独の意味では乳房、乳首などの意味であるが、本便りを送付している方には女性も居り、タイトルに日本語のゴシック体で、そのまま書くのも気が引けたのでこれも意識した。



「Viejo」を老人として使うのはやや軽蔑的な使い方、年寄りや爺さんと訳しても良いのだが、スペイン語講座でもないもので、少しは変化球を投げても良いだろう。

自分自身では常に、“若い、若い”と思いつつも、いつの間にか法律的にも老人の年代に仲間入りし、まもなく悪名高い、「後期高齢者年代」に突入しようとしている、ボラッチョ・ボニート氏にとって、老人と軽蔑されようが何しようが関係なく、にやりとしながらも、呑み助の心理は洋の東西を問わないものだと思います、実に楽しくなってくる諺の一つである。

このような、スペイン語の諺はあるとはいえ、これはあくまでもスペイン本国の諺であろう。当地では、アルコールに関しては、公的には余り寛大で無く、街中で酔っ払っていたり、酒などを買った場合、袋などに入れず

目立つように持っていたりすると、時には逮捕されると言う話も聞いた。酔っ払いに比較的寛大などこかの国に比較して、「おお、怖い、怖い！」である。

酒類には度数の強い弱いにかかわらず、あるいはメキシコ産や輸入物を問わず、「飲みすぎると健康に害になる」という、タバコの警告文と同様な規制文がラベルに印刷されているか、あるいはシールなどが貼付さ



れているので、呑み助氏にとってはこの文を、チラリチラリと眺めながら飲むと、気持ちよく酔えるものではないだろう。

こんな警告文を貼付されてあったとしても、飲みすぎると言う基準を、私はタイトルを忠実に信じたり、あるいは拡大解釈しているのです、いつも多分警告文を無視し勝ちであり、メキシコ人も飲み振りは豪快な人が多い。

そんなことはどうでも良い、タイトルに記したような、牛乳の代わりに、37～38度のアルコール度の強いテキーラをガブ飲みするわけにはいかないが、諺を信じて、まあ、何はともあれ大いに飲んで陽気な気分になろうということだろうし、私も折に触れて、日本の「乾杯」の意味をメキシコ人に、話のタネとして教えながらメキシコ人と喜びを分かちあっている。



日本でもデパートの酒売り場などでは、テキーラも他の洋酒とともに並んでいるはずだから、日本とメキシコ間の貿易拡大に貢献するためにも、これらを大いに飲んで中南米風流で、杯を上げてみてはいかがですか！

中南米でお酒類を飲むときは、¡Salud! (サルー、乾杯)という言葉から始まる。本来この言葉は、「健康」という意味だが、間投詞的に使って、酒の飲み始めはもちろん飲んでる途中でも、飲んでる連中と目でも会えば、「サルー」、相手もこれに答えて「サルー」と繰り返す、その都度酒量も増えていくのである。

テキーラの原料を育んだ自然の大地と、それを最後の製品にまで仕上げあげた職人技に感謝を込めて、「サルー！」さらに付け加えると、「アモール！」(愛)、「ディネロ！」(お金)と発声する人もおり、「健康」、「愛」、「お金」の3拍子そろえば、人生は万々歳と言うものだ。

(¡Viva Japón! ¡Viva México!)(日本万歳、メキシコ万歳)(☺) 今日私の筆名の通り、ボラッチョ(酔っ払い)になってきた？

(2010年2月21日、長期の仕事が終わり、安堵の気分で飲む酒は最高です)



過去から付き合い合ってきたテキーラの一例